

大阪府工業指数2025年8月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1) 生産指数…82.6 前月比▲7.0% 2か月連続の低下(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、金属製品工業など8業種が低下し、輸送機械工業、生産用機械工業など6業種が上昇した。

品目別にみると、医薬品、橋りょう等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲7.6%と2か月連続の低下となった。

(2) 出荷指数…82.9 前月比▲7.1% 2か月連続の低下(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、金属製品工業など10業種が低下し、輸送機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業など4業種が上昇した。

品目別にみると、橋りょう、医薬品等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲8.2%と2か月連続の低下となった。

(3) 在庫指数…101.2 前月比▲0.3% 3か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、鉄鋼・非鉄金属工業など6業種が低下し、食料品工業、石油・石炭製品工業など7業種が上昇した。

品目別にみると、ポリプロピレン、ショベル系掘削機械等が低下した。

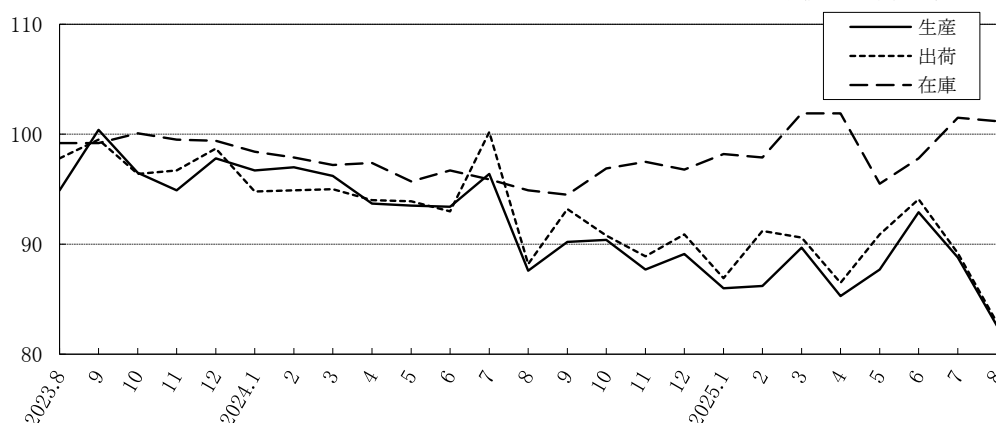
また、前年同月比(原指数)は、6.6%と3か月連続の上昇となった。

2020年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前 月 比 (%)		前年同月比(%)
生 産	2025 年 7 月	88.8	▲4.4	93.3	▲7.8
	2025 年 8 月	82.6	▲7.0	73.8	▲7.6
出 荷	2025 年 7 月	89.2	▲5.2	93.5	▲11.0
	2025 年 8 月	82.9	▲7.1	75.0	▲8.2
在 庫	2025 年 7 月	101.5	3.8	102.4	5.8
	2025 年 8 月	101.2	▲0.3	102.9	6.6

生産・出荷・在庫の推移

数値は季節調整済指数



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産 前月比 ▲ 7.0% 上昇 6 業種
低下 8 業種
横ばい 0 業種 計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	輸送機械工業	0.695	15.1	鉄道車両、シャシー・車体部品
	生産用機械工業	0.201	1.7	プレス用金型、金属工作専用機
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.148	1.3	普通鋼H形鋼、特殊鋼冷間仕上鋼材
	電気・情報通信機械工業	0.097	1.3	開閉制御装置、プロジェクタ
	食料品工業	0.031	0.3	チョコレート、食用油脂
	窯業・土石製品工業	0.005	0.4	ファインセラミックス(構造材)
	その他の上昇した品目			酢酸ビニルモノマー【化学工業】、 機械プレス【生産用機械工業】
低下	化学工業	▲ 6.304	▲ 32.1	医薬品、界面活性剤
	金属製品工業	▲ 1.470	▲ 15.7	橋りょう、スチール製缶
	汎用・業務用機械工業	▲ 0.680	▲ 7.6	一般用バルブ・コック、試験機
	その他工業	▲ 0.304	▲ 4.5	ステンレス製魔法瓶、工業用ゴム製品
	プラスチック製品工業	▲ 0.236	▲ 6.7	プラスチック製フィルム・シート、 プラスチック製機械器具部品
	石油・石炭製品工業	▲ 0.203	▲ 5.0	ガソリン、ナフサ
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.050	▲ 2.8	段ボールシート
	電子部品・デバイス工業	▲ 0.029	▲ 6.9	電子回路基板
	その他の低下した品目			化学機械【生産用機械工業】、 鉄道車両部品【輸送機械工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	鉄道車両	輸送機械工業
	2	プレス用金型	生産用機械工業
	3	チョコレート	食料品工業
	4	シャシー・車体部品	輸送機械工業
	5	酢酸ビニルモノマー	化学工業
	6	金属工作専用機	生産用機械工業
	7	機械プレス	生産用機械工業
	8	産業用ロボット	生産用機械工業
	9	金属製家具	その他工業
	10	ふっ素樹脂	化学工業
低下	1	医薬品	化学工業
	2	橋りょう	金属製品工業
	3	化学機械	生産用機械工業
	4	鉄道車両部品	輸送機械工業
	5	界面活性剤	化学工業
	6	超硬工具	生産用機械工業
	7	一般用バルブ・コック	汎用・業務用機械工業
	8	ポリプロピレン	化学工業
	9	プロピレン	化学工業
	10	駆動伝導・操縦装置部品	輸送機械工業

(2)出荷 前月比 ▲ 7.1% 上昇 4 業種
低下 10 業種
横ばい 0 業種 計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	輸送機械工業	0.910	16.4	鉄道車両、シャシー・車体部品
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.399	3.0	普通鋼H形鋼、メーカー向け銅裸線
	石油・石炭製品工業	0.109	1.4	ガソリン、精製・混合原料油
	生産用機械工業	0.041	0.4	ショベル系掘削機械、プレス用金型
	その他の上昇した品目			汎用内燃機関【汎用・業務用機械工業】、機械プレス【生産用機械工業】
低下	化学工業	▲ 3.844	▲ 25.2	医薬品、エチレン
	金属製品工業	▲ 1.611	▲ 15.7	橋りょう、飲料用アルミニウム缶
	食料品工業	▲ 0.477	▲ 4.5	砂糖、チョコレート
	その他工業	▲ 0.406	▲ 6.5	ステンレス製魔法瓶、マーキングペン
	プラスチック製品工業	▲ 0.341	▲ 7.3	プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製機械器具部品
	汎用・業務用機械工業	▲ 0.255	▲ 3.0	一般用バルブ・コック、パッケージ形エアコン
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.117	▲ 6.9	紙器用板紙
	電気・情報通信機械工業	▲ 0.079	▲ 1.4	セパレート形エアコン(室外)、リチウムイオン蓄電池
	電子部品・デバイス工業	▲ 0.064	▲ 13.4	電子回路基板
	窯業・土石製品工業	▲ 0.004	▲ 0.4	生コンクリート、安全ガラス
	その他の低下した品目			プロピレン【化学工業】、化学機械【生産用機械工業】

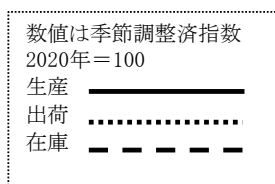
注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3)在庫 前月比 ▲ 0.3% 上昇 7 業種
低下 6 業種
横ばい 0 業種 計 13 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	食料品工業	0.398	7.7	チョコレート
	石油・石炭製品工業	0.355	10.6	軽油、ジェット燃料油
	電気・情報通信機械工業	0.199	1.7	リチウムイオン蓄電池、蛍光灯
	輸送機械工業	0.085	11.2	電動アシスト自転車
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.079	7.8	段ボール原紙
	その他工業	0.078	1.4	繊維板・パーティクルボード、クレヨン・パス・水彩絵の具
	プラスチック製品工業	0.071	1.8	発泡プラスチック製品、プラスチック製フィルム・シート
	その他の上昇した品目			鉄鋼切断品【鉄鋼・非鉄金属工業】、普通鋼小形棒鋼【鉄鋼・非鉄金属工業】
低下	化学工業	▲ 1.762	▲ 10.9	ポリプロピレン、フェノール
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲ 0.119	▲ 0.5	鋼半製品、亜鉛めっき鋼板
	汎用・業務用機械工業	▲ 0.079	▲ 1.0	分析機器、エアハンドリングユニット
	金属製品工業	▲ 0.027	▲ 0.3	電気溶接棒、産業用アルミニウム製品
	窯業・土石製品工業	▲ 0.009	▲ 1.2	研削砥石、耐火れんが
	生産用機械工業	▲ 0.007	▲ 0.1	ショベル系掘削機械
	その他の低下した品目			柔軟仕上げ剤【化学工業】、重油【石油・石炭製品工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

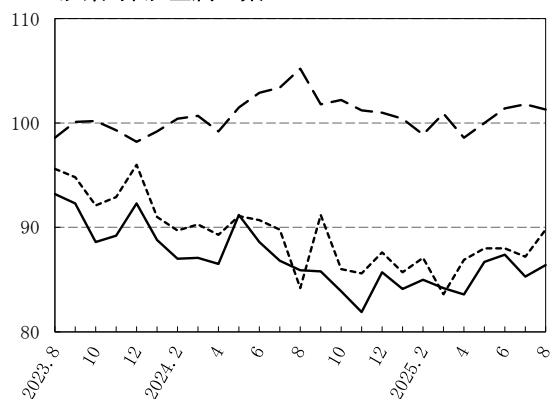
3 業種分類別の推移



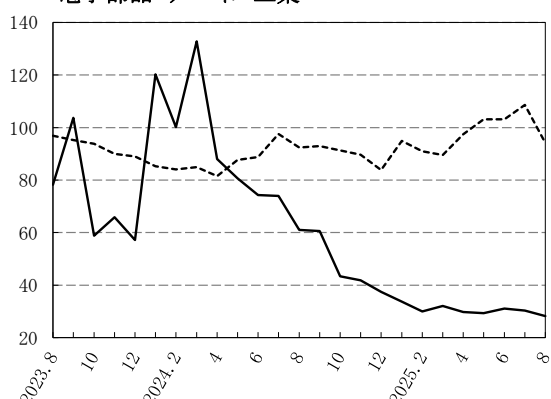
汎用・業務用機械工業



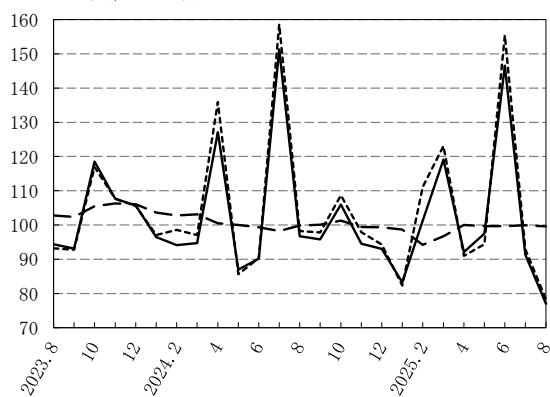
鉄鋼・非鉄金属工業



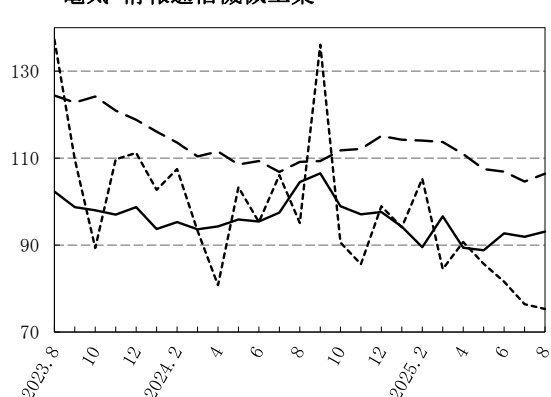
電子部品・デバイス工業



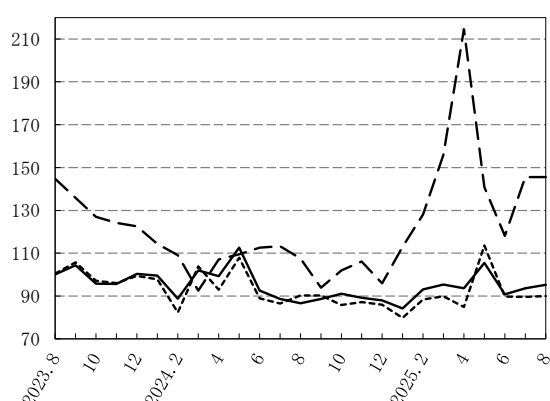
金属製品工業



電気・情報通信機械工業

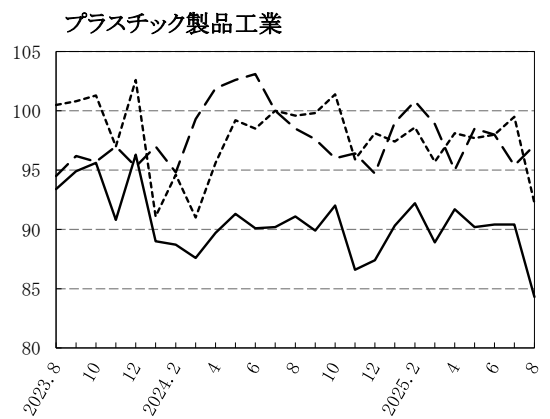
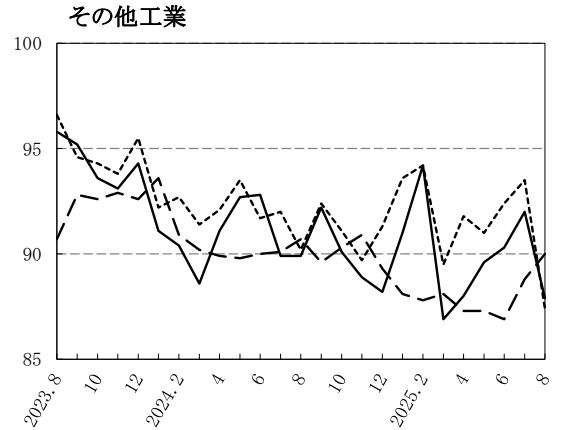
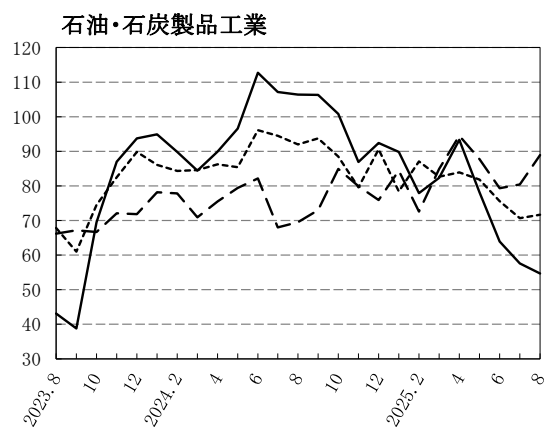
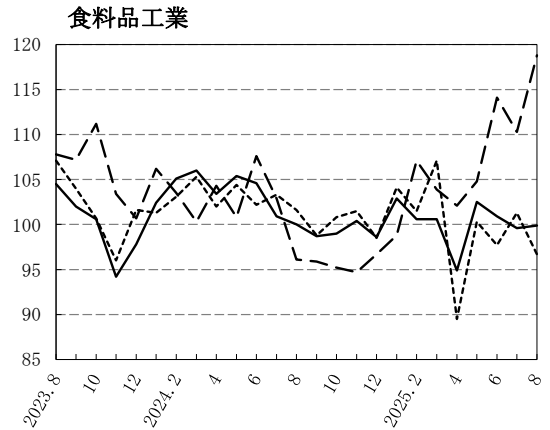
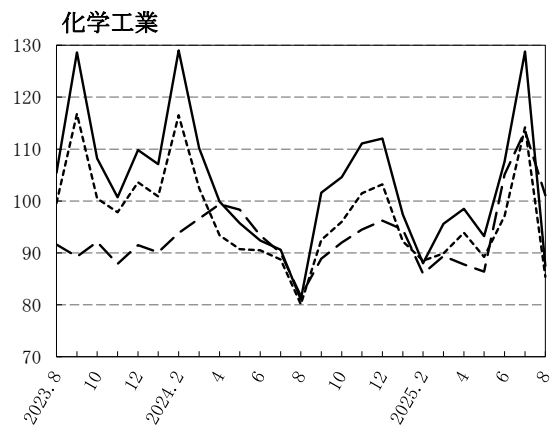
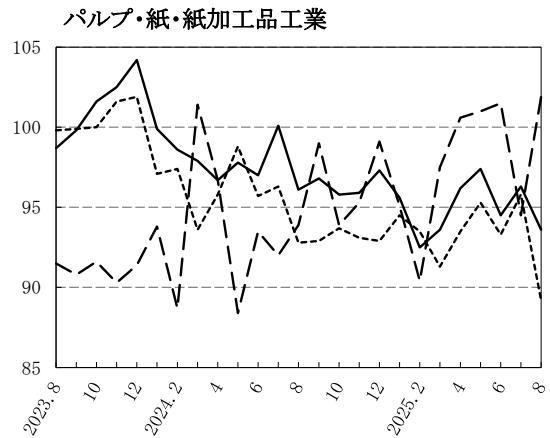
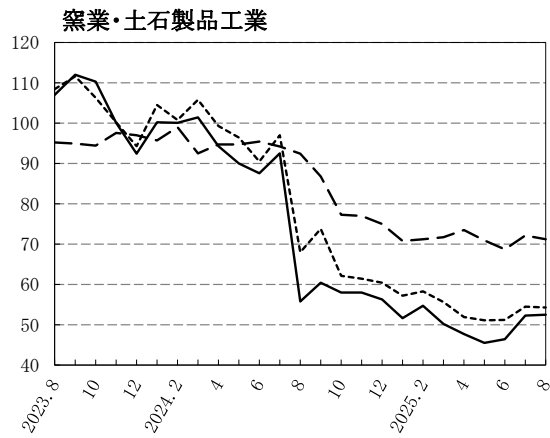


生産用機械工業



輸送機械工業





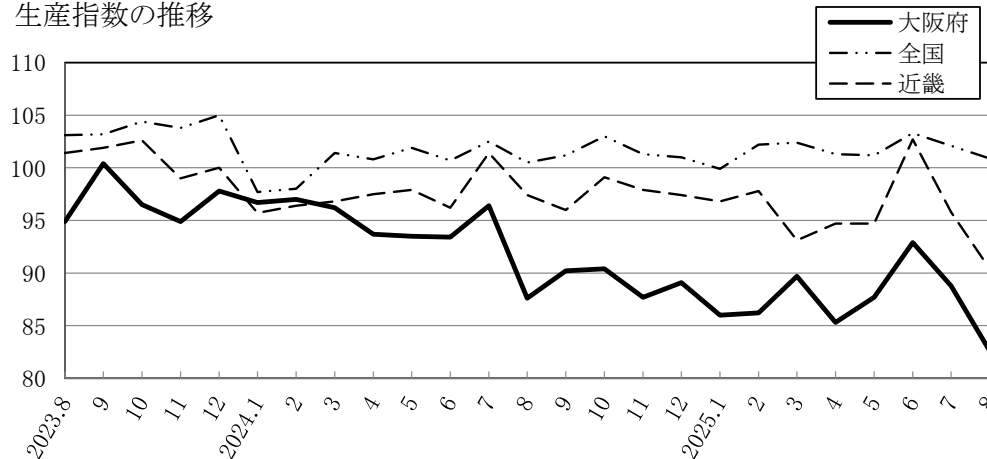
4 全国・近畿の状況(速報)

2020年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	82.6	▲7.0	100.9	▲1.2	90.4	▲5.6
出荷	82.9	▲7.1	99.8	0.5	89.7	▲3.2
在庫	101.2	▲0.3	99.1	▲1.0	108.0	0.8

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2020年(令和2年)です。

2020年(令和2年)基準の指数値は、2024年1月速報(2024年3月29日公表)から公表しています。

2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」……負数であることを示す。

3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

寄与度については、計算の過程で季節調整等の要素による誤差が発生するため、寄与度の合計値は製造工業全体の増減値と一致しない場合があります。

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2024年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2025年6月速報(2025年8月29日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、2025年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/o040090/toukei/iip/index.html>

▼本資料についての問合せは下記をお願いします。

大阪府総務部統計課 分析・利活用促進グループ 工業指数担当 TEL: 06(6210)9195(直通)